

アル・アクサ洪水第6 1 3日目：新たな「援助」虐殺で多数の死傷者 | マドリーン号活動家が強制送還の危機に直面

Palestine Chronicle、2025年6月10日、脇浜義明訳



イスラエルは新たな「援助」虐殺を行った。(Photo: via QNN)

主要事項

*アル・クッズ病院の報告では、ガザ市南のネツアリム回廊近くで、援助物資を求める人々の少なくとも12人が殺害され、124人以上が負傷した。

*イスラエル・メディアのチャンネル13の報道では、マドリーン号活動家8人が国外追放手続き書類への署名を拒否したため、身柄拘束され、強制追放処分となる。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエルのガザ攻撃による死亡者は54,927人、負傷者は126,615人となった。

最新情報

6月11日 1:01am (パレスチナ時間)

*アル・ジャジーラ：英国下院の無所属議員で元労働党首のジェレミー・コービンは、イスラエルはますます孤立し、特にヨーロッパの同盟国を失いつつあると言った。

6月11日 12:52am

*声明：英国政府は声明を発表し、キア・スターマー首相はノルウェーの首相と電話会談し、イスラエルのベン・グヴイル国家安全保障大臣とスモトリッチ財務大臣への制裁が重要であることで同意した。スターマー首相はイスラエル人とパレスチナ人の安全の保障となる二国家解決案への支持を繰り返して述べた。

6月11日 12:50am

*声明：世界食糧計画は、イスラエルが停戦破りのガザ攻撃を再開した5月19日以降、ごくわずかの生命維持用の食品しかガザに搬入できていないと言った。「以前は1日に600~700台のトラックがガザに入っていたが、5月19日以降は全部で700台のトラックが入っただけだ。飢饉回避のためには、ガザ住民の基本的食料ニーズを定期的に満たす必要がある。現在ガザ回廊内の飢饉不安は非常に高い。支援物資の搬入には、運搬トラックの安全なルートの確保、搬入許可の迅速化、国境通路の開放が必要だ。」

6月11日 12:48am

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊の病院筋の報告によれば、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊各地への砲撃で82人のパレスチナ人が死亡した。

6月11日 12:46am

*イエディオト・アハロト：情報筋によれば、6月9日のイランとガザ戦争をめぐるトランプ大統領とネタニヤフ首相の電話会談は緊張した。トランプのメッセージは戦争終結という目標に立ち返り、これ以上長引かせないことであった。米・イラン交渉に先立ち、イスラエルのモサド長官、デルメル外相、米国のウィトコフ特使の間で会談を持つことが合意された。イスラエルはイランを奇襲攻撃しないことを米国に約束した。

6月11日 12:44am

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエルは米特使スティーブン・ウィトコフの停戦と捕虜交換提案に若干の修正を加え、ハマスの回答を待っている。この前に、カンは「交渉の急進展で事態の打開になるかもしれない」という外国筋の見方を伝えた。

6月11日 12:43am

*イエディオト・アハロト：第8200部隊の将校が「私は予備役復帰を拒否する。この戦争はネタニヤフ個人の打算で行われているからだ。ネタニヤフは国民の信頼を失っており、国家全体を自分の打算のための人質にしている。私たちは戦争のこの段階でおかしいと思われる軍命令には従わないことにした」と言った。

6月11日 12:41am

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、ハーン・ユニス市のマワシ地区とアル・カラーラ地区の避難民テント村へのイスラエル無人機の攻撃で、3人のパレスチナ人が死亡した。

6月10日 11:24pm

*アル・クッズ旅団：我々は、ガザ回廊北部のエズベト・ベイト・ハヌーンの西の地域に侵攻していた敵のメルカヴァ戦車を、爆発力が強い樽爆弾で破壊した。

*アンサールッラ：アンサールッラの軍事部門報道官は「我々は2発の弾道ミサイルでロッド空港（ベン・グリオン空港）を攻撃し、命中した。改めてロッド空港を利用する航空会社に航空便を直ちに停止するよう警告する。また、ハイファ港を利用する企業や団体にハイファ港の利用を停止するように警告する」と発表した。

*CNN：エリゼ宮殿（フランス大統領官邸）当局は、「フランスがパレスチナ国承認を取り消したという報道は嘘報道である。我々はパレスチナ国承認の決意で、国家樹立のための条件作りに努力する。パレスチナ国承認は、パレスチナ人の正当な願望を支持する我々の立場と一致する」と述べた。

*カン：信頼できる情報筋によれば、「6月6日の電話会談で、ネタニヤフはイランとの交渉は無益で、イランは米国へ敬意を払っていないとトランプに言ったが、トランプはそれに対して厳しい口調で、ネタニヤフのイラン攻撃の主張こそ無益で、米政府は交渉を続けると言った。トランプは、他の手段に訴える前に外交的オプションを尽くすつもりだとネタニヤフに告げた」という。

*アル・ジャジーラ：国連人道問題調整事務所（OCHA）の報道官はアル・ジャジーラの取材に対して、「我々は人道基準に合致しない援助物資配給システムには参加しない。ガザの人々はあらゆるものを必要としており、我々は物資が必要とする人々全員に届くようにしなければならない。ガザ回廊では燃料が不足しており、燃料の搬入がなければ、生命にかかわる重要施設が機能しなくなる」と語った。

*西側諸国のベン・グヴィールとスモトリッチに対する制裁：英国政府は、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、ノルウェーに続いて、極右大臣のイタマール・ベン・グヴィールとベザレル・スモトリッチに対して、西岸地区でパレスチナ人に対する暴力を繰り返し扇動したことで、制裁を科す決定をした。

*アル・ジャジーラ：西岸地区のナブルスで、今朝から続けている攻撃を強化するために占領軍は増援部隊を送った。

*アル・ジャジーラ：英国の中東担当大臣のハミッシュ・ファルコナーは「わが国は、パレスチナ人をガザ内だろうがガザの外へだろうが強制移住させることを容認しない。ガザ回廊における人道団体の活動は非常に困難である。我々はパレスチナ人の権利を脅かす過激な行動に対してはそれ相応の措置を講じている。我々はガザで使用されるかもしれないので弾薬や爆弾をイスラエルに売却していない」と言った。

*チャンネル12：情報筋の話では、トランプはネタニヤフとの電話会談で、単にウイトコフ特使提案だけでなく、トランプが行っているイラン交渉でガザ停戦は役に立つので、ガザ停戦をネタニヤフに勧めた。

*イエディオト・アハロト：イスラエルの予備役将校たちがネタニヤフ首相、国防大臣、参謀総長に、捕虜交換と戦争終結を要求している。将校たちは陳情書の中で非民主主義的政府のもとでは軍務に就くことを拒否すると述べている。陳情書に署名したのは41人の予備役将校で、戦争再開は国家安全保障のためでなく、政治的打算のためだとはっきり表現している。またガザ回廊への軍事行動エスカレートも批判している。陳情書は政府が捕虜交換の道を潰し、軍の攻撃でイスラエル人人質の多くが死んだことを指摘している。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、今日明け方からのイスラエル占領軍のハーン・ユニス市とラファ市への砲撃で、40人のパレスチナ人が死亡した。

*イスラエル首相府：国際刑事裁判所から戦争犯罪容疑で指名手配中のネタニヤフ首相は、国防大臣、戦略問題担当大臣、軍の参謀総長とガザ停戦に関しての交渉の進展について協議したと、首相府が発表した。

*チャンネル12：情報筋の話では、トランプ大統領は、国際刑事裁判所から戦争犯罪容疑で指名手配されているネタニヤフ首相に、ガザ戦争は「もう消耗した」と言って、戦争終結を求めた。

*パレスチナ・クロニクル：これはよくある典型的なビデオではない。事件そのものは他の多くの出来事と同じであろう；つまり、戦士がトンネルから出てきて、イスラエル軍のメルカヴァ戦車に爆弾を仕掛けて、爆発する前にトンネルへ戻る話だ。これはゼロ距離作戦と呼ばれる。しかし、このビデオは異なる。アル・カッサム旅団や他の抵抗グループが作成したビデオではない。不吉な背景音楽も、巧妙な編集も、赤い三角マークもない。それは、イスラエル軍が作って流したもののだからだ。ラムジー・バルードとロマーナ・ルベオの最新論文を読みたい。[\(Ramzy Baroud & Romana Rubeo, "A Video Like No Other— Why the Israeli Army Has Revealed Its Own Failure", Palestine Chronicle, June 10, 2025\)](#)

6月10日 8:26 pm

*イスラエル・メディア：イスラエル民間防衛隊は、警戒警報がイスラエル国中で、とりわけ大テルアビブ、エルサレム、西岸地区入植地で鳴り響いたと発表した。イエメンから一発のミサイルが発射されたという軍の発表を受けての警報である。イスラエル軍ラジオ放送は何発かの迎撃ミサイルを発射したというセキュリティ当局の発表を報じた。

*イスラエル軍：イエメンから発射されたミサイルを検知し、迎撃作業を行っている。その間イスラエル民間防衛隊が大テルアビブ地域、エルサレム、西岸地区入植地など、数百の地区で警報を鳴らした。イスラエル軍ラジオ放送は、セキュリティ当局が数発の迎撃ミサイルを発射したという発表を伝えた。

*イエディオト・アハロト：ガザ戦争に復帰したイスラエル歩兵が心身が壊れた感を訴え、「みんなが疲労困憊し、不安がっている」と述べた。彼はガザで戦う兵士の命が尊重されていないと感じ、これまでの攻撃姿勢から防衛姿勢に転じ、兵士たちは「戦争目的に疑問を持っている」と言った。

*パレスチナ・クロニクル：今日バスとトラックから成る陸路援助物資輸送コンボイがリビアに入り、エジプトに向かっている。イスラエルのひどいガザ封鎖を破ることを目指している。

*UNRWA：ガザ回廊では5歳以下の幼児の2700人以上が深刻な栄養失調である。ガザ回廊北部では一部機能している医療施設は一か所のみである。燃料の備蓄量は非常に低くなった。

*アル・クッズ旅団：我々はハーン・ユニス南のキザン・アブ・ラシュワン地区に陣取った占領軍の兵士と車両を攻撃した。

6月10日 6:42 pm

*パレスチナ・クロニクル：学生ビザを取り消されたコーネル大学アフリカ研究博士課程のモモドウ・タールがFloodGate ポッドキャストに参加して、学生運動、西側の偽善、何故パレスチナが「西洋文明の最後のフロンティア」であるかを語った。[\(Romana Rubeo, "Palestine is the Litmus Test for Humanity: Momodou Taal Speaks to the FloodGate", Palestine Chronicle, June 20, 2025\)](#)

*イエディオト・アハロト：オランダでイスラエル空軍将校が戦争犯罪容疑で告訴された。この将校はまだオランダにいて、イスラエル企業の技術展示会に参加している。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務大臣は、「私は、英国、オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェーが私とベン・グヴィルに制裁を科す決定をしたことに、現実的な対応をするつもりだ。かつて英国は我々が祖国へ入植することを阻止しようとしたことがあったが、我々は同じようなことを二度とさせない。我々はユダヤ国建設にまい進する」と言った。イタマル・ベン・グヴィルは、「彼らはハマスの機嫌取りをしているが、そんなキャンペーンは成功しない。彼らが気が付くときは、手遅れになってからだろう」と言った。

*アル・ジャジーラ：中東初の24時間ライブ・ニュース・チャンネルの『アル・ジャジーラ・ムバシャー』でフランス外務省は「イスラエルはリマ・ハッサン欧州議会議員を含む4人のフランス人を拘留している」と述べた。

*パレスチナ・クロニクル：今日のガザ政府内務省の発表によれば、救急隊員がガザ市でイスラエルの攻撃で負傷した民間人を搬送しようとしているときに、イスラエル戦車が砲撃し、救急隊員3人とジャーナリスト1人が死亡した。アナドル通信が伝えた内務省声明によると、昨日夜、ガザ市東部のアトゥファーフ地区の民家をイスラエル軍が攻撃し、怪我をした住人を救急隊員が避難させようとしていたところを、イスラエル戦車が砲撃した。

*アル・ジャジーラ：マドリーン号拿捕の有様を現場から報道したアル・ジャジーラ・ムバシャー特派員のオマール・ファイヤドは、釈放された後、マドリーン号の一室に一日間監禁されたと話した。

6月10日 6:02 pm

*パレスチナ赤三日月社：社員の一人が西岸地区ナブルスのラス・アル・アイン地区で占領軍に拘束された後、連絡が取れなくなった。

*ブルームバーグ：駐イスラエル米国大使は「私はパレスチナ国樹立が依然としてわが国の外交政策の目標であるとは考えていない。米国はパレスチナ独立国家の樹立を全面的に支持しているわけではない。仮にパレスチナ国家が樹立されたとしたら、西岸地区でなくて、どこか他のところでだろう。私は超正統派ユダヤ教徒シャスの指導者たちに、米国はネタニヤフ政府崩壊を否定的に捉えていると言った。米国にとって、ネタニヤフ政府の崩壊はイスラエルの不安定の兆候である」と述べた。

*オーストラリア、ニュージーランド、ノルウェー、英国の外相共同声明：4カ国の外相は「我々はベン・グヴィルとスモトリッチに制裁を科すことを宣言する。二人が扇動した西岸地区の入植者の暴力はパレスチナ人の人権を侵害した。我々は二国解決案を支持する。我々はガザの民間人の極度の苦しみに深い懸念を表明する」と言った。

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人救急隊員3人とジャーナリスト1人が、ガザ市内で負傷した民間人を避難させようとしていた際にイスラエルの戦車砲弾により死亡した。ガザ内務省が火曜日に発表した。内務省の声明によると、イスラエルの戦車は月曜夜、ガザ市東部のアル・トゥファハ地区でイスラエルの空爆により負傷した民間人を避難させていた救急隊員に対し、直接砲撃を加えた。アナドル通信が伝えた。

*チャンネル13：今夜ネタニヤフ首相は人質問題に関して協議会を開く。

*チャンネル12：ネタニヤフは捕虜交換交渉に関する進展を背景にして、閣僚や治安当局者と電話協議をしている。

*ネタニヤフ：捕虜交換交渉ではかなりの進展がある。まだ希望を与えるには時期尚早だが、我々は今時機を逃さないように取り組んでいる。我々は常に人質返還につながる交渉に取り組んでいる。進歩があることを望んでいる。今日、我々はイエメンを追加攻撃した。今回は海軍による攻撃である。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊の病院の情報では、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊各地への砲撃で78人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、今日夜明けからのイスラエル軍のハーン・ユーニス市とラファ市への砲撃で、32人のパレスチナ人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、イスラエル無人機がハーン・ユーニスのマワシ地区を爆撃して、2人のパレスチナ人が死亡し、その他数人が負傷した。

6月10日 4:05 pm

*パレスチナ・クロニクル：イラン政府とイスラエル政府の間で脅迫的レトリックがエスカレートする中で、イランは歴史的な規模の情報収集活動の成果を明らかにした。イランは数千点に及ぶイスラエルの機密文書を入手したばかりでなく、それを使って、もしがイスラエルがイランの核施設を攻撃した場合は、イスラエルの秘密核兵器施設を攻撃すると警告した。これはイスラエルの情報機関にとって大打撃で、その威信を揺るがした。このためイラン攻撃が困難になったようである。これに関するロバート・インラケシュの論文を読みたい。[\(Robert Inlakesh, "How Iran's Intelligence Operation Shatters Israeli Security Services' Prestige", Palestine Chronicle, June 10, 2025\)](#)

6月10日 4:02 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエルから国外退去となったスウェーデンの活動家グreta・トゥーンベリはスウェーデンへ向かう途中にパリへ到着した。パリで彼女は次のように語った。「私たちに起こったことはイスラエルの国際法違反の継続です。私たちは拘留されている活動家の解放とガザ回廊の封鎖の解除を求めます。各国政府はガザ回廊のイスラエルの犯罪を支持することで、ガザのひどい犯罪に加担しています。私たちの政府の裏切り行為は言葉では表現できません。せめて、パレスチナ国家を承認するぐらいはしてほしいものです。ガザの人々はジェノサイドで民族浄化されており、世界はそれを黙って見ているだけです。」

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、ハーン・ユーニスのマワシ地区へのイスラエル軍の砲撃で1人死亡。ハーン・ユーニス市のバトゥン・アッサミン地区へのイスラエル軍の砲撃で1人死亡。

*ハマス声明：ネツァリム回廊の救援物資配給センター付近で民間人を殺害したのは恐るべき戦争犯罪だ。この犯罪で少なくとも20人の住民が死亡し、数十人が負傷した。これはシオニストのパレスチナ人絶滅計画を如実に物語っている。占領軍の犯罪は、国際社会の意思と人道的国際条約を無視して、大量殺害と組織的飢餓の政策を続けていることを証明している。

*チャンネル14：西岸地区ナブルスの旧市街でイスラエル兵の武器を奪おうとした2人のパレスチナ人が殺害された。

*アル・クッズ旅団：6月7日、ハーン・ユーニス南のキザン・アンナジャール地区のアル・ムハジリーン学校の近くで、我々はシオニストの軍用車を破壊した。事前に仕掛けていた高爆発性の樽爆弾を破裂させ、占領軍兵士を死傷させた。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、ラファ西の米国民間会社の援助物資配給センターでイスラエル軍の発砲で8人のパレスチナ人が死亡した。

6月10日 2:26 pm

*パレスチナ・クロニクル：今朝、イスラエル海軍がイエメン南部のホデイダ市を攻撃、アンサールツラとの対立を激化させた。

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル外務省は、イスラエル軍によって船が拿捕され、アシュドッド港に移送された後、マドリーン号の活動家を出身国へ送還するために、ベン・グリオン空港へ身柄を移送したと発表した。

*「死の畏」：今日イスラエル占領軍の攻撃で少なくとも52人のパレスチナ人が死亡した。その中にはネツァリム回廊近くの援助物資配給センターで配給を待っていた20人も含まれる。アル・クッズ病院の報告では死亡者の他に124人が負傷したという。

6月10日 12:18 pm

*アル・ジャジーラ：アル・アクサ殉教者病院の院長はアル・ジャジーラの取材で、酸素ボンベと発電機が至急必要だと言った。

*ハマス声明：犯罪的な敵がアットゥファーフ地区で救急隊員を攻撃して3人殺害したのは、暗い犯罪記録に新たな犯罪を付け加えたことだ。犠牲者を助ける救急隊員を殺害するのは前例のない水準のひどい犯罪行為である。

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院の報告によれば、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフの民家をイスラエル軍が攻撃し、8人のパレスチナ人が死亡し、他にたくさんの人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：ガザ市西のアル・カラマ地区をイスラエル軍が砲撃している。

6月10日 11:18am

*イスラエル・メディア：イスラエル民間防衛隊はガザ回廊周辺地域のジキムで警報が鳴っていると発表した。

*ハアレツ：関係筋の話では、トランプ大統領はネタニヤフ首相との電話会談で、イラン攻撃を公の話題にするなど言った。ネタニヤフはイランとの核合意交渉をやめさせようと大統領を説得しようとした。しかしトランプは、ネタニヤフにイラン攻撃にゴーサインを出すつもりはないと、はっきり断言した。

*パレスチナ・メディア：ガザ医療サービス局は、救急隊員がアットゥファーフ地区で人道的活動をしているときにイスラエル占領軍に攻撃され、3人が死亡したと発表した。

*チャンネル13：マドリーン号の活動家の8人が国外追放手続きへの署名を拒否したので、強制送還となる。

*スウェーデン・メディア：スウェーデン通信社はグレタ・トゥーンベリがイスラエルから国外追放されて、飛行機でスウェーデンへ向かっていると報道した。

*パレスチナ・メディア：アル・クッズ病院の報告によれば、ガザ市南のネツァリム回廊近くの救援物資配給センター付近で救援物資を求める人々が攻撃され、12人が死亡し、124人が負傷した。多くの西側諸国や人権団体は「ガザ人道財団」の救援物資配布メカニズムに反対を表明している。「ガザ人道財団」は占領当局が活動禁止している国連のUNRWAに取って代わる目的でイスラエル・米国が作り上げた似非人道支援団体である。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の医療筋の報告では、ハーン・ユニスのマワシ地区の避難民一家のテントへのイスラエル軍の砲撃で、3人が死亡した。

*レバノン市民防衛団：南レバノンの町シェバアの郊外へのイスラエル無人機攻撃で、2人が死亡した。

*チャンネル15：マドリーン号に乗船していた欧州議会のリマ・ハッサン議員はラムラのギヴォン・センターで拘留されている。彼は今日の午後にパリへ送還される予定である。

6月10日 8:52am

*アル・ジャジーラ：イスラエル無人機が現在南レバノンの町シェバアを攻撃している。イスラエルは、昨年11月27日に発効した停戦協定にもかかわらず、レバノン南部、東部、ベイルート南部郊外を攻撃し続け、軍も南レバノンの5か所に駐留している。

6月10日 8:50m

*パレスチナ・メディア：アッシーファ病院の医療者の報告では、イスラエル占領軍がネツァリム回廊で援助物資を求める人々を襲撃し、パレスチナ人3人が死亡し、数十人が負傷した。ガザ政府メディア・オフィスは、「ガザ人道財団は僅か2週間の操業で、屈辱的で抑圧的なセンターで物資を求める人々130人以上を銃殺し、1,000人以上を負傷させた」と発表した。

6月10日 8:49am

*イエメン・メディア：現在イスラエル機がホデイダを攻撃している。昨日、イスラエル軍はラス・イサ、ホデイダ、サリフの各港からの避難を命じた。アンサールッラはガザのパレスチナ人に連帯してイスラエルへのミサイル発射を、イスラエルがガザの絶滅戦争をやめない限り、続けると宣言している。

6月10日 8:46am

*パレスチナ・メディア：ヌセイラトのアル・アウダ病院の報告によれば、ガザ回廊中部の救援物資配給センター近くで救援物資を求める人々へイスラエル占領軍が発砲し、2人が死亡し、92人が負傷した。